

- 西村勝三 実業家。武家ながら商人志し、近代的な製靴・製革業の先駆者となり、耐火煉瓦でもトップメーカーの礎。
にしむらかつぞう
・ ・ ・ ・ ・ 1836 = 佐倉藩堀田氏側用人の家柄で支藩佐野藩の家老に出ていた西村芳郁の三男として、江戸の佐野藩邸で生まれた。
_西村茂樹は長兄にあたる。
- 大塩平八郎乱 1837 = 1歳 :
- 順天堂始 ・ ・ 1843 = 7歳 : 佐野藩の学校に入って、漢学・洋学を修め、
- 阿部正弘首座 1845 = 9歳 :
- のち、大砲の第一人者佐久間象山に入門、
- 国定忠治疎 ・ 1850 = 14歳 : 父を失うが、佐野藩に召し出され、
- 万次郎帰国 ・ 1852 = 16歳 : 近習となり、三男ながら一家を構える。
- ペリー来航 ・ 1853 = 17歳 : 藩の学校で教え、
- 開国開港 ・ ・ 1854 = 18歳 :
- 安政大地震 ・ 1855 = 19歳 : 砲術助教に任じられる一方、幕府が新設した海軍伝習所に志願するも不合格となったことから、
- 松下村塾 ・ ・ 1856 = 20歳 : 脱藩して直談判するも当然許されず、江戸で浪人生活に入る。
- 蕃書調所 ・ ・ 1857 = 21歳 : あきらめきれず、_長崎へ向かおうとして、大宮で腹痛を起こし、行田の叔父のところで養生、そこで彦根藩の佐野領地で鋳物生産のかたわら、越後で鉛山を経営する商人正田利右衛門と出会い、砲弾づくりを相談されたことから、江戸に引き返して、鉛の研究を始める。
- 桜田門外変 ・ 1860 = 24歳 :
- 遣欧使節 ・ ・ 1861 = 25歳 : _正田に連れられて、開港したばかりの横浜を訪れて開眼、商人となる決意を固め、横浜運上所の岡田平蔵の書記役となるが、
- 生麦事件 ・ ・ 1862 = 26歳 : _朱を密売して幕府の咎めに触れ謹慎、
- 8月18日政変 1863 = 27歳 : _横浜へ抜け出して見つかри、人足寄場に入れられ、
- _脚気の面倒を見た囚人たちの放免願いによって、
- 薩摩藩士密航 1865 = 29歳 : *_ようやく出所すると、神田に西村銃砲店を開く。
- 薩長同盟 ・ ・ 1866 = 30歳 : _横浜に移って伊勢勝商店とし、
- 大政奉還 ・ ・ 1867 = 31歳 : *_「さらに日本橋に移して伊勢勝銃砲店とすると、幕末・維新の内乱に当って、新政府軍の総督府御用達商人となり、外国商館との直接取引による銃砲・弾薬の売買で巨額の利益をあげ、
- 明治維新 ・ ・ 1868 = 32歳 : _新政府の兵部大輔大村益次郎から軍靴納入の斡旋を依頼されたのを契機に、洋式皮革業の導入を始め、
- 戊辰戦争終 ・ 1869 = 33歳 : 新潟で銅鉄を、四日市で雑貨を販売し、洋銀支払いの請負、
- 初の日刊新聞 1870 = 34歳 : _東北から牛を購入して飼育、横浜ガス局の経営など、様々なことに手を出しては失敗しながら、東京築地入船町に日本初の(伊勢勝)造靴工場を設立し、清国人靴工藩浩の、ついでオランダ人靴工レマルシヤンの指導のもとに軍靴の製造を始めた。横浜在住のドイツ人製革業者ボスケを招いて製革工場を設け、
- 佐倉相済社を下請工場として、その経営に尽力する一方で、
- 学問のすすめ 1872 = 36歳 : _軍靴下製造のためにとメリヤス工場を設立し、安全油を販売、
- 明治6年政変 1873 = 37歳 :
- 佐賀の乱 ・ ・ 1874 = 38歳 : _オーストラリアから綿羊を輸入して飼育、
- 初の民間工場 1875 = 39歳 : _房総漁業会社を経営するなど、挑戦しては失敗し続け、造靴工場も経営難にさらされ、自らも脚気・心臓病に冒されたが、政府・旧藩主・第一銀行などの資金援助を受けて切りぬけ、耐火煉瓦製造所も設立、
- 西南戦争 ・ ・ 1877 = 41歳 : _田西村組と改めて再出発、第1回内国勲業博覧会で龍紋賞を受け、
- ・ ・ ・ ・ ・ 1880 = 44歳 : _製革工場に蒸気機関を導入し、
- 明治14年政変 1881 = 45歳 : _第2回内国勲業博覧会でも上位に入賞、
- 新体詩抄 ・ ・ 1882 = 46歳 : _黒象皮の製造に成功をおさめた。
- 秩父事件 ・ ・ 1884 = 48歳 : _佐倉にちなんで、桜組と改称。折からの朝鮮事変(甲申の変)で軍用革の需要が増加したので、年来の負債を償却。弾直樹とならぶ近代的な製靴・製革業の先駆者となった。この年、深川工作局の耐火煉瓦工場の払い下げを受け、伊勢勝つ白煉瓦製作所を設立、
- 帝国大学始 ・ 1886 = 50歳 : ドイツを中心にヨーロッパ視察し、優れた製靴技師クンペルヅルを連れて帰る。
- 国民之友始 ・ 1887 = 51歳 : _品川硝子工場の払い下げを受け、深川のものを移して、品川白煉瓦製造所に改め、以後、産業資本家への道を歩む。
- 帝国憲法発布 1889 = 53歳 : _靴の皮革全ての国内生産に成功、
- 帝国議会始 ・ 1890 = 54歳 : *_第3回内国勲業博覧会では名誉賞牌を受けるとともに、製靴・製革・耐火煉瓦3部門の審査員に選ばれるなどして、名実ともに靴業界の先駆者として認められるに至った。のちに、日本人として初めて明治天皇の靴をつくり、トップメーカー大塚製靴を開く大塚岩次郎も育った。
- 大本教 ・ ・ ・ 1892 = 56歳 : _耐火煉瓦でも古河溶銅所から、ドイツのものより優れていると感謝状を受ける。
- 日清戦争始 ・ 1894 = 58歳 : _日清戦争が起って、大量の軍靴の注文を受け、それまでの借金を完済、
- 子規句歌革新 1898 = 62歳 : _桜組を合資会社として経営を安定化、
- Bushidou ・ ・ 1899 = 63歳 :
- ビアノ国産化 ・ 1900 = 64歳 : _品川白煉瓦製造所も合資会社とし、
- 田中正造直訴 1901 = 65歳 : _製鋼用耐火煉瓦が第1回全国窯業品共進会で1等。ドイツから機械を輸入し、日本初の機械製靴を開始、
- 教科書疑獄 ・ 1902 = 66歳 : _5つの靴メーカーを合同させた日本製靴会社創立に参与して監査役となる。
- 日比谷公園 ・ 1903 = 67歳 : _第5回内国勲業博覧会でも製鋼用耐火煉瓦が1等となり、品川白煉瓦株式会社と改組し、社長となる。
- _日本近世工業史の編纂に資金面で協力、「日本近世造船史」「日本近世窯業史」などを完成させ、
- 日露戦争終 ・ 1905 = 69歳 :
- 満鉄発足 ・ ・ 1906 = 70歳 : _革の部門でも4工場を合併し日本皮革株式会社とする計画をまとめ、
- 韓国反日暴動 1907 = 71歳 : *_発足させたところで、没した。